

News Release

2009年6月18日

各 位

上場会社名 フリービット株式会社
(コード番号 3843 : 東証マザーズ)
本社所在地 東京都渋谷区円山町 3 番 6 号
代表者 代表取締役社長 石田宏樹
問合せ先 代表取締役副社長 田中伸明
電話番号 03-5459-0522 (代表)
(URL <http://www.freebit.com/>)

**フリービットパートナー、北京天地互連(BII)が中国全土において
仮想化技術を利用した中国初の一般ユーザー向け IPv6 接続サービスを開始
~ 全世界のネットユーザー8 億人に v6 アクセスを無料で実現と発表 ~**

当社は、本日添付のプレスリリースを行いますのでお知らせいたします。
尚、本件に伴う平成 22 年 4 月期の業績への影響につきましては、現時点では軽微であると
考えております。



〒150-0044 東京都渋谷区円山町 3 番 6 号 E・スペースタワー13 階
Voice (代表) 03-5459-0522 FAX 03-5459-0523
<http://www.FreeBit.Com/>

News Release

報道関係者 各位

2009年6月18日
フリービット株式会社

フリービットパートナー、北京天地互連(BII)が中国全土において 仮想化技術を利用した中国初の一般ユーザー向け IPv6 接続サービスを開始 ～全世界のネットユーザー8億人に v6 アクセスを無料で実現と発表～

フリービット株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:石田宏樹、以下フリービット)の中国市場におけるビジネスパートナーである北京天地互連信息技术有限公司(BII Group Holdings Ltd. 本社:北京市朝陽区、法定代表者:劉東、以下 BII)は、2009年6月17日、北京で開催したプレスカンファレンスにおきまして、

- 1) IPv6 をサポートする Web サイトに対する認証(IPv6 WWW 認証ロゴマーク)の開始と運用実績の報告
- 2) 仮想化技術を採用した中国初の一般ユーザー向け IPv6 接続サービス「六飛(6fei:読みは liufei)」

の2つを発表いたしましたことをご報告いたします。

カンファレンスには、CNGI(注1)専門委員会の構成メンバーである李星清華大学教授をはじめ、中国国内で、IPv6 ベースでの次世代ネットワーク構築に携わる方々が来賓として出席されたほか、取材に集まった主要メディアの数は約70社に及びました。



この発表にあたりまして、世界のインターネット業界の重要人物もコメントを寄せています。

Dr. Vint Cerf(インターネットの父、Google 副社長兼チーフインターネットエバンジェリスト、IPv6

News Release

フォーラムの名誉会長):「非常に良い一歩を踏み出し、正しい方向に向かっていると思う。IPv6 は全ての人にオープンでなければならない」

Latif Ladid(IPv6 フォーラム代表):「WWW 認証と接続サービスの開始は、世界 IPv6 戦略のマイルストーンになる」

劉東(世界 IPv6 サービス認証委員会委員長):「当社が今回この二つのサービスを開始することは、IPv6 へのマイグレーション並びに商用化を更に加速化させるためであり、業界の積極的な反応と支援を期待している」

また、フリービット代表取締役社長兼 CEO の石田宏樹は今回の発表を受けて、以下のようにコメントしております。

「フリービットの中国市場における重要なビジネスパートナーである BII から『六飛』がリリースされたことを心からお喜び申し上げます。『六飛』の登場によって、中国国内のみならず、世界中のインターネットユーザーが IPv6 環境を、とても簡単に、そしてコストの負担なく、無料で利用できるようになりました。IPv4 枯渇問題への対応という点に加え、IPv6 への移行により、新しいインターネットの世界が開かれることに大きな期待を寄せています。フリービットも BII と共にアジア発のイノベーションを世界に広げ、世界的な通信インフラのマイグレーションにつなげていきたいと考えております」

BII からの発表資料は別紙のとおりです。

(注 1) CNGI(China Next Generation Internet): 中国政府が中心となって推進している大規模な IPv6 実験

【フリービット株式会社について】

フリービットは、独創的なインターネット技術と事業企画力によって、クラウド化する社会に対応する「Smart Infra 提供事業」を行っております。特許取得技術を含む最先端のテクノロジーと市場のニーズを先取りするマーケティングを組み合わせることで、他の追随を許さない独自のネットワークサービスを展開しています。「IT 時代のものづくり」をキーワードに継続的に新たな価値の創造に努めております。

【報道関係者からのお問い合わせ】

フリービット株式会社 広報担当 / 中村

Mail: Press@FreeBit.net 電話番号 : 03-5459-0522

別紙

自主的な技術開発によって v6 認証の国際基準をリード ～ ネットユーザー 8 億人に v6 アクセスを無料で実現～

2009 年 6 月 17 日、北京で開催された「IPv6 対応 Web サイトへの認証および接続サービスのリリース発表会」において、BII 社は(1)IPv6 対応 Web サイトへの認証、(2)IPv6 接続サービス「六飛」のサービス開始を発表した。2 つのサービスの開始は、IPv6 の商用化が世界的に加速され、すべてのネットユーザーに IPv6 時代が訪れたことを物語るものである。

IPv6 をサポートする Web サイト認証プログラムについて

APNIC は先日、IPv4 アドレスが 2011 年に枯渇すると発表した。中国は世界最多のインターネットユーザー 3 億人を有し、ドメイン数は 1700 万に近づいているものの、一人あたりに割り当てられた IP アドレスは米国の 40 分の 1 に過ぎない。IP アドレスの不足は既に通信業界の主なボトルネックの 1 つになりつつある。

世界中で 2 億 3000 万に上る Web サイトが IPv6 に切り替えるこの重要なタイミングで、中国企業はこのチャンスを捉え、国際認証基準の制定に成功し、国際組織の認可を獲得した。

2009 年 6 月 8 日、IPv6 フォーラムは正式に IPv6 をサポートする Web サイトの認証プログラムを開始した。BII 主導の下、世界中の Web サイトを対象に認証テストを行い、IPv6 WWW 認証ロゴマークを与えていく。6 月 17 日現在、わずか 10 日あまりの期間に認証サービスは大きな進展を見せた。CERNET、北京オリンピック公式サイト、Hurricane Electric、NTT を含めた 15 ヶ国・地域の 137 のサイトから申請が殺到し、そのうち 75 が既に認証を受けた。中国 CNGI 専門家委員会も今回の認証を高く評価し、CNGI 会員全員に積極的な認証獲得を呼びかけている。

BII は「中関村 20 周年卓越貢献賞」の受賞者として、自主的な技術開発により世界的にこの認証サービスを開始し、インターネット時代における中国の発言力向上、通信インフラのマイグレーションの加速化に向けて大きな一歩を記した。

すべてのユーザーが IPv6 アクセスが可能な時代の到来

世界中の Web サイトに IPv6 認証を提供すると同時に、BII は 6 月 17 日、全世界への「六飛」のサービス開始を発表した。

2011 年にも発生すると見られる IPv4 アドレス枯渇問題に対処するためにも、IPv6 へのスムーズな切り替えは、各国政府、キャリア、コンテンツプロバイダーおよび設備メーカーが直面する大きな課題になっている。業界団体の統計によると、全世界には 8 億のネットユーザーが IPv4 と IPv6 リソースの相互アクセスを必要としている。多数の IPv6 に対する研究と商業利用に向けた開発実績を有する BII 社は、六飛接続サービスを無料で提供し、ユーザーが v4/v6 の相互アクセスを行う際の障壁を越える力になりたいと考えている。

現在の IPv4 環境においても、ユーザーはソフトウェアをダウンロードし、所要時間 1 分程度のインストール作業で、簡単に IPv6 環境を前提とした Web サイトの情報を閲覧できる。「六飛」は世界のネットユーザーに IPv6 の世界の扉を開け、世界に先駆けてビジネスチャンスをつかめるよう、

IPv6 時代にジャンプするエンジンになりたいと考えている。

世界を代表するインターネットエキスパートのコメントは次のとおり。

Dr. Vint Cerf(インターネットの父、Google 副社長兼チーフインターネットエバンジェリスト、IPv6 フォーラムの名誉会長):「非常に良い一歩を踏み出し、正しい方向に向かっていると思う。IPv6 は全ての人にオープンでなければならない」

Latif Ladid(IPv6 フォーラム代表):「WWW 認証と接続サービスの開始は、世界 IPv6 戦略のマイルストーンになる」

劉東(世界 IPv6 サービス認証委員会委員長):「当社が今回この二つのサービスを開始することは、IPv6 へのマイグレーション並びに商用化を更に加速化させるためであり、業界の積極的な反応と支援を期待している」

IPv6 WWW 認証の詳細:www.ipv6forum.com/ipv6_enabled

六飛サービスの詳細:www.6fei.com.cn

自主创新主导 v6 认证国际标准 八亿网民免费即时接入 v6 网络

2009 年 6 月 17 日在北京举行的“IPv6 网站认证与接入服务启动发布会”上，天地互连公司宣布推出两项新的举措：全球 IPv6 网站认证和 IPv6 接入服务“六飞”。两项服务的启动标志着 IPv6 在全球范围内加速走向应用，全民 IPv6 时代即将来临。

IPv6 网站认证

权威机构 APNIC 此前宣布 IPv4 地址将于 2011 年枯竭。中国目前互联网用户数跃居全球首位，已达 3 亿，域名数逼近 1700 万，但人均地址数仅为美国的 1/40。IP 地址已经日益成为制约网络通信行业发展的主要瓶颈之一。

在全球 2.3 亿网站需要向 IPv6 过渡的关键时刻，中国企业抓住机遇，首次成功制定国际认证标准，并得到国际组织的认可。

2009 年 6 月 8 日，IPv6 论坛正式启动全球 IPv6 网站认证，由天地互连公司主导，提供面向全球网站的认证测试，并授予 IPv6 WWW 认证标识。截至发稿当日，仅仅 10 天时间，认证服务已取得突破性进展。全球申请的网站已达 137 家，75 家成功通过认证。其中包括 CERNET、北京奥运会官网、Hurricane Electronics、NTT 等十五个国家和地区的知名网站。我国 CNGI 专家委员会对此也非常重视，已号召所有 CNGI 参与单位积极获取认证。

天地互连作为中关村二十周年突出贡献奖获奖单位，通过自主创新，在全球成功推出此项服务，对于提升中国在互联网新格局下的话语权、加速推动互联网基础设施的升级换代，具有划时代意义。

全民 IPv6 用户时代来临

在为全球网站提供 IPv6 认证的同时，天地互连于 6 月 17 日正式向全球发布“六飞”服务。

2011 年 IPv4 地址将枯竭，如何向 IPv6 网络平稳过渡，是各国政府、运营商、服务提供商、设备商所面临的重大课题。国际权威组织预计全球将有八亿网民需要实现 IPv4 和 IPv6 网络资源的互访。拥有国家多项 IPv6 科研和产业化成果的天地互连公司，推出“六飞”免费服务，跨越 v4v6 网络资源互访的鸿沟。

在现有 IPv4 环境下，用户只需下载一个小程序，1 分钟完成安装，即可浏览 IPv6 网络资源。“六飞”为全球网民打开一扇通往 IPv6 世界的大门，提前获取更多商机，率先迈入 IPv6 时代。

来自全球互联网专家的高度评价：

- 互联网之父、谷歌公司副总裁、IPv6 论坛名誉主席 Vint Cerf 博士：“你们迈出了很好的一步，选择了正确的方向。IPv6 需要服务于每一个人！”
- IPv6 论坛主席 Latif Ladiid “网站认证和接入服务的推出是全球 IPv6 战略发展的里程碑！”
- 全球 IPv6 服务认证委员会主席刘东：“我们推出这两项服务，是为了进一步促进向 IPv6 的平稳过渡和商业应用。我们期待着业界积极的回应和支持！”

关于 IPv6 网站认证的详细信息请访问：www.ipv6forum.com/ipv6_enabled

关于六飞服务的详细信息请访问：www.6fei.com.cn